

平成28年度病虫害発生予察予報第11号（2月）

平成29年2月3日
高知県病虫害防除所

《予報の概要》

作物名	病虫害名	予想発生量※
促成キュウリ	べと病 うどんこ病 つる枯病 タバココナジラミ 黄化えそ病 ミナミキイロアザミウマ	やや少(中央)、少(中西、西) <u>多(中央)</u> 、やや少(中西、西) <u>多(中西)</u> 、平年並(西)、少(中央) 平年並(中央)、少(中西、西) <u>やや多(中央)</u> 、平年並(西)、やや少(中西) <u>多(県下全域)</u>
促成ナス	うどんこ病 黒枯病 ミナミキイロアザミウマ タバココナジラミ	平年並(中央)、少(東、西) <u>やや多(中央)</u> 、平年並(東、西) <u>やや多(東)</u> 、やや少(中央、西) 平年並(東)、やや少(中央、西)
促成ピーマン ・シシトウ	うどんこ病 斑点病 黒枯病 ミナミキイロアザミウマ タバココナジラミ	平年並(中央、中西)、やや少(東) <u>多(中央、中西)</u> 、平年並(東) <u>多(東、中西)</u> 、やや少(中央) <u>やや多(東、中央)</u> 、やや少(中西) <u>多(中西)</u> 、 <u>やや多(東)</u> 、やや少(中央)
促成トマト	葉かび病 すすかび病 うどんこ病 黄化葉巻病 タバココナジラミ	<u>多(中央)</u> <u>多(中央)</u> <u>やや多(中央)</u> 少(中央) <u>やや多(中央)</u>

※（ ）内の表記 東：県東部、中央：県中央部、中西：県中西部、西：県西部

I 気象予報（高松地方気象台 2 月 2 日発表）

＜予想される向こう 1 か月の天候＞ 2 月 4 日から 3 月 3 日

平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

向こう 1 ヶ月の平均気温は、平年並または低い確率ともに 40％です。日照時間は平年並または多い確率ともに 40％です。

週別の気温は 1 週目は平年並の確率 50％です。2 週目は低い確率 50％です。

＜向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）＞

期間	対象地域	要素	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
1 ヶ月	四国地方	気温	40	40	20
		降水量	30	40	30
		日照時間	20	40	40

＜気温経過の各階級の確率（％）＞

期間	対象地域	低い	平年並	高い
1 週目	四国地方	20	50	30
2 週目		50	40	10
3～4 週目		30	40	30

＜予報の対象期間＞

1 ヶ月：2 月 4 日（土）～ 3 月 3 日（金）

1 週目：2 月 4 日（土）～ 2 月 10 日（金）

2 週目：2 月 11 日（土）～ 2 月 17 日（金）

3～4 週目：2 月 18 日（土）～ 3 月 3 日（金）

II 主な病害虫の発生予想

1 促成キュウリの病害虫

1) ベと病

予 想 発生量：やや少（中央部）、少（中西部、西部）

根 拠

(1) 巡回調査では県下全域で発生が見られたが、いずれの地域も発生面積は平年より少なく、発病程度が高い地域も見られなかった。

(2) 2 月の降水量は少なめと予想されているため、現在と同じ状況が続くと考えられる。

対 策

(1) 多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底するとともに、換気により、ハウス内湿度の低下に努める。

2) うどんこ病

予 想 発生量：多（中央部）、やや少（中西部、西部）

根 拠

(1) 巡回調査では県下全域で発生が見られた。県中央部では発生面積が多めであったが、中西部、西部はやや少なめであった。発病程度は県下全域で平年以下であっ

た。

(2) 低温期は病勢の進展が緩慢になるため、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

(1) 他の糸状菌病害とは異なり、やや乾燥条件での発病が多くなる。多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底する。ガッテン乳剤、プロパティフロアブルを使用した場合、菌叢の褐変、消失は見られないので防除効果は上位葉への進展など、未発生葉への進展状況で判断する。

3) つる枯病

予 想 発生量：多（中西部）、平年並（西）、少（中央部）

根 拠

(1) 巡回調査では県下全域で発生が見られた。県中西部では発生面積が多かったが、他の地域は平年以下であった。発病程度は中西部、西部で高めであったが、中央部は低かった。

(2) 2月の降水量は少なめと予想されているため、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

(1) 多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底するとともに、換気により、ハウス内湿度の低下に努める。

4) タバココナジラミ

予 想 発生量：平年並（中央部）、少（中西部、西部）

根 拠

(1) 巡回調査では県中央部でのみ発生が見られた。発生面積は平年よりやや少なめであり、密度が高いほ場も見られなかった。

(2) 日照時間の延長にともない増殖が盛んになるため、発生が多くなると考えられる。

対 策

(1) 本虫は生長点付近に成虫が産卵するので、薬剤防除を行う場合、上位葉を中心に発生初期の防除を徹底する。

5) 黄化えそ病

予 想 発生量：やや多（中央）、平年並（西部）、やや少（中西部）

根 拠

(1) 巡回調査では県下全域で発生が見られた。いずれの地域も、発生面積は平年以下であり、発病程度の高いほ場は見られていないが、本病の媒介虫であるミナミキイロアザミウマの発生が、県下全域で多めとなっていること、今後、密度増加が予想されることから、発生が増加すると考えられる。

対 策

(1) 媒介虫であるミナミキイロアザミウマの防除を低密度時に徹底する。また、罹病株は早期に除去し、埋設するなどの処分を行う。

6) ミナミキイロアザミウマ

予 想 発生量：多（県下全域）

根 拠

(1) 巡回調査では県下全域で見られた。いずれの地域も平年に比べ発生面積が多く、密度も高めであった。

(2) 日照時間の延長にともない増殖が盛んになるため、発生が多くなると考えられる。

対 策

- (1)多発すると防除が困難になるため、低密度時の防除を徹底する。また、薬剤抵抗性が発達しているため、天敵の利用など、農薬以外の防除方法も取り入れる。

2 促成ナスの病害虫

1) うどんこ病

予 想 発生量：平年並（中央部）、少（東部、西部）

根 拠

- (1)巡回調査では県東部、中央部で発生が見られたが、いずれの地域も目立った発生は見られなかった。
- (2)低温期は病勢の進展が緩慢になるため、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

- (1)他の糸状菌病害とは異なり、やや乾燥条件での発病が多くなる。多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底する。

2) 黒枯病

予 想 発生量：やや多（中央部）、平年並（東部、西部）

根 拠

- (1)巡回調査では県下全域で発生が見られた。県中央部では平年に比べ発生面積がやや多めであり、発病程度も高かった。東部は発生面積、発病程度とも平年並、西部は発生面積は平年並であったが発病程度は高かった。
- (2)本病は高温、多湿条件で多発する。2月の降水量は少なめと予想されていること、低温期は病勢の進展が緩慢になることから、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

- (1)多発すると防除が困難になるので発生初期の防除を徹底するとともに、換気により、ハウス内湿度の低下に努める。
- (2)罹病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。

3) ミナミキイロアザミウマ

予 想 発生量：やや多（東部）、やや少（中央部、西部）

根 拠

- (1)巡回調査では県下全域で発生が見られた。いずれの地域も発生面積は平年並以下であり、寄生密度が高い地域も見られなかった。
- (2)日照時間の延長にともない増殖が盛んになるため、発生が多くなると考えられる。

対 策

- (1)多発すると防除が困難になるため、低密度時の防除を徹底する。また、薬剤抵抗性が発達しているため、天敵の利用など、農薬以外の防除方法も取り入れる。

4) タバココナジラミ

予 想 発生量：平年並（東部）、やや少（中央部、西部）

根 拠

- (1)巡回調査では県下全域で発生が見られたが、いずれの地域も発生面積は平年より少なめ、寄生密度も低かった。
- (2)日照時間の延長にともない増殖が盛んになるため、発生が多くなると考えられる。

対 策

- (1) 本虫は生長点付近に成虫が産卵するので、薬剤防除を行う場合、上位葉を中心に発生初期の防除を徹底する。

3 促成ピーマン、シシトウの病害虫

1) うどんこ病

予 想 発生量：平年並（中央部、中西部）、やや少（東部）

根 拠

- (1) 巡回調査では県下全域で発生が見られたが、いずれの地域も発生面積、発病程度とも平年以下であった。
- (2) 低温期は病勢の進展が緩慢になるため、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

- (1) 他の糸状菌病害とは異なり、やや乾燥条件での発病が多くなる。多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底する。

2) 斑点病

予 想 発生量：多（中央部、中西部）、平年並（東部）

根 拠

- (1) 巡回調査では県下全域で発生が見られ、県中央部では平年に比べ発生面積が多く、発病程度も高かった。中西部も発生面積が多かったが、発病程度は平年並であった。東部は発生面積、発病程度とも平年以下であった。
- (2) 2月の降水量は少なめと予想されていること、低温期は病勢の進展が緩慢になることから、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

- (1) 多発すると防除が困難になるので発生初期の防除を徹底するとともに、換気により、ハウス内湿度の低下に努める。
- (2) 罹病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。

3) 黒枯病

予 想 発生量：多（東部、中西部）、やや少（中央部）

根 拠

- (1) 巡回調査では県下全域で発生が見られた。県東部、中西部では平年に比べ発生面積が多く、発病程度も高かったが、中央部では発生面積は平年に比べ少なく、発病程度も低かった。
- (2) 本病は高温、多湿条件で多発する。2月の降水量は少なめと予想されていること、低温期は病勢の進展が緩慢になることから、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

- (1) 多発すると防除が困難になるので発生初期の防除を徹底するとともに、換気により、ハウス内湿度の低下に努める。
- (2) 罹病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。

4) ミナミキイロアザミウマ

予 想 発生量：やや多（東部、中央部）、やや少（中西部）

根 拠

- (1) 巡回調査では県下全域で発生が見られた。発生面積はいずれの地域も平年以下、県東部、中央部は密度も低かったが、中西部は密度が高かった。
- (2) 日照時間の延長にともない増殖が盛んになるため、発生が多くなると考えられる。

対 策

- (1) 多発すると防除が困難になるため、低密度時の防除を徹底する。また、薬剤抵抗性が発達しているため、天敵の利用など、農薬以外の防除方法も取り入れる。

5) タバココナジラミ

予 想 発生量：多（中西部）、やや多（東部）、やや少（中央部）

根 拠

- (1) 巡回調査では県下全域で見られた。県中西部は平年に比べ発生面積が多く、密度も高かったが、東部は平年並、中央部は少発生であった。
- (2) 日照時間の延長にともない増殖が盛んになるため、発生が多くなると考えられる。

対 策

- (1) 本虫は生長点付近に成虫が産卵するので、薬剤防除を行う場合、上位葉を中心に発生初期の防除を徹底する。

4 促成トマトの病害虫

1) 葉かび病

予 想 発生量：多(中央部)

根 拠

- (1) 巡回調査では平年に比べ多めの発生であったが、下葉中心の発生であり、発病程度の高いほ場は見られなかった。
- (2) 2月の降水量は少なめと予想されていること、低温期は病勢の進展が緩慢になることから、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

- (1) 多発すると防除が困難になるので発生初期の防除を徹底するとともに、換気により、ハウス内湿度の低下に努める。
- (2) 発病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。

2) すすかび病

予 想 発生量：多(中央部)

根 拠

- (1) 巡回調査では平年に比べ多めの発生であり、発病程度も高かったが下葉中心の発生で被害は見られなかった。
- (2) 2月の降水量は少なめと予想されていること、低温期は病勢の進展が緩慢になることから、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

- (1) 多発すると防除が困難になるので発生初期の防除を徹底するとともに、換気により、ハウス内湿度の低下に努める。
- (2) 発病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。

3) うどんこ病

予 想 発生量：やや多(中央部)

根 拠

(1)巡回調査では平年に比べやや多めの発生であり、発病程度も高かったが下葉中心の発生で被害は見られなかった。

(2)低温期は病勢の進展が緩慢になるため、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

(1)多発すると防除が困難になるので発生初期の防除を徹底するとともに、換気により、ハウス内湿度の低下に努める。

(2)発病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。

4) 黄化葉巻病

予 想 発生量：少(中央部)

根 拠

(1)巡回調査では平年に比べ発生面積は少なく、発病程度も低かった。

(2)日照時間の延長にともない本病の媒介虫であるタバココナジラミの増殖が盛んになるが、この時期、野外から保毒虫の侵入はないため、新たなほ場での発生は無いと考えられる。

対 策

(1)媒介虫であるタバココナジラミの防除を徹底する。また、罹病株はほ場外に持ち出し、埋設するなどして処分する。

5) タバココナジラミ

予 想 発生量：やや多(中央部)

根 拠

(1)巡回調査では一部のほ場で発生が見られた程度であり、寄生密度も低かった。

(2)日照時間の延長にともない増殖が盛んになるため、発生が多くなると考えられる。

対 策

(1)本虫は生長点付近に成虫が産卵するので、薬剤防除を行う場合、上位葉を中心に発生初期の防除を徹底する。また、本虫は黄化葉巻病を媒介するので注意する。

農作物の病虫害防除のための情報です。お気軽にご利用ください。

病虫害防除所ホームページ (こうち農業ネット)

①病虫害発生予察月報、病虫害発生予察予報

②病虫害発生予察注意報、病虫害発生予察警報、病虫害発生予察特殊報

③病虫害発生予察技術資料

④新しく問題となっている病虫害 etc.